コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンス強化は経営に欠かせないものであると考え、コーポレートガバナンス・コードの各原則に基づき、透明性の高いガバナンス体制を構築しています。

基本的な考え方

マブチグループは、小型モーター事業を通じた「国際社会への貢献とその継続的拡大」を経営理念に掲げ、その実現にこそ当社の存在意義があるものと認識しております。当社のコーポレートガバナンスは、この経営理念の実現をサポートする機関設計、経営管理体制、及びそれを維持するための経営上の諸施策からなります。したがって、適切なコーポレートガバナンス体制を整備し、運用する基本的な目的は、適正利益の創出と企業価値の向上を通じて、株主をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様の利益に継続的に貢献することであります。上場企業としてのコーポレートガバナンスについては、次のような体制を構築、維持することが不可欠であると考えております。

- ・経営上の意思決定と効率的な業務執行が明確な区分 をもって行われ、責任の所在が明らかであること
- ・適切な内部統制システムが構築され、運用されていること
- ・株主と利益相反のない独立役員が相当数選任され、 経営監視機能の客観性及び中立性が確保されている こと
- ・企業倫理とコンプライアンスの実践が、組織の社会的 公平性を支え、すべてのステークホルダーの皆様からの 信頼と期待に応える基本である、という認識が企業文 化として、全従業員によって共有されていること
- ・株主をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様に対し、適正、公平、適時かつ明瞭に企業情報の開示が行われ、取締役会及び監査等委員会によるアカウンタビリティが確保されていること

体制・システムの構築

当社は、取締役会における監督機能の強化、業務執行決定権限の一部を取締役へ委任することによる経営の意思決定の迅速化を図るため、2019年3月28日付で監査等委員会設置会社へ移行いたしました。また、取締役会の任意の諮問機関として、指名委員会・報酬委員会を設置しております。

当社は、小型直流モーターのパイオニアとして、常に独自の製品・技術の開発と経営組織・管理体制の整備に注力するとともに、差別化を実現し成長を遂げてまいりました。加えて、継続的にコーポレートガバナンスの強化・充実を図り、経営・業務執行体制と実践的な内部統制システムを構築し、効率的なグループ経営を実現してまいりました。

具体的には、高い独立性と経営者としての豊富な経験を有する社外取締役を設置するとともに、やはり高い独立性と専門性を有する監査等委員である取締役を含む監査、経営(内部)監査、品質システム監査等の内部監査及び独立会計士監査など多面的な経営監視体制を構築し、実効化することで、経営組織の秩序を維持し、グループ全体で、適切なリスク管理やコンプライアンスを実現しております。

当社は、このようなコーポレートガバナンス体制を構築・採用することにより、経営の効率化と透明性を確保しておりますが、今後とも、当社の事業特性に適した体制のあるべき姿を継続的に追求してまいります。

コーポレートガバナンス体制(模式図)

